

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：家庭児童福祉費

事業名 社会的養育県立施設再整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

子ども・女性部 子ども家庭課 施設整備係 電話番号：058-272-1111(内3553)

E-mail：c11217@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 51,884 千円 (前年度予算額：13,178 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	13,178	0	0	0	0	0	0	0	13,178
要求額	51,884	0	0	0	0	0	0	0	51,884
決定額	51,580	0	0	0	0	0	0	0	51,580

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

児童養護施設「白鳩学園」及び児童自立支援施設「わかあゆ学園」は、県立の施設であるものの、「白鳩学園」は築46年、「わかあゆ学園」は築43年が経過しているうえ、施設自体が本県の社会的養育推進計画で示す小規模化等がなされていない。

また、児童虐待相談対応の増加に伴い、一時保護のニーズが増加。それらに対応すべく、県内各子ども相談センターの職員の増員を図っているものの、急激な職員増に伴い、とりわけ中濃子ども相談センターの狭隘化が顕著となっている。また、一時保護施設は現行2箇所（岐阜、飛騨）あるものの、中濃、東濃地域からの移送は遠距離で子どもへの負担が大きい。

(2) 事業内容

県立3施設（児童養護施設「白鳩学園」、児童自立支援施設「わかあゆ学園」、「中濃子ども相談センター及び一時保護所」）の再整備等に向けた基本設計等を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	315	
旅費	511	
消耗品費	148	
会議費	11	
役務費	104	
使用料	99	
委託料	50,696	
合計	51,884	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県社会的養育推進行動計画

第4章 社会的養育の推進に向けた取組

4 一時保護改革に向けた取組

7 施設の小規模かつ地域分散化、高機能化及び多機能化・機能転換に向けた取組

(2) 後年度の財政負担

設計費、工事費等が必要

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 児童養護施設「白鳩学園」及び児童自立支援施設「わかあゆ学園」、「中濃子ども相談センター及び一時保護所」の再整備を行う。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

施設整備事業のため

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和5年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和6年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない

(評価)

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3:期待以上の成果あり
2:期待どおりの成果あり
1:期待どおりの成果が得られていない
0:ほとんど成果が得られていない

(評価)

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている

(評価)

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課
組み合わせる理由
や期待する効果 など

【〇〇課】